

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	JALSG-ALL202-U Reinduction therapy (weeks 12-15)
診療科名	血液腫瘍内科
診療科責任者名	末永 孝生
適応がん種	成人急性リンパ性白血病
保険適応外の使用	□有 ■無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	ALL-037
登録日・更新日	2019年6月25日
削除日	
出典	Blood Cancer Journal (2014) 4, e252
入力者	高松 宏行

投与順に記入(抗がん剤のみ)

No.	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	ピンクリスチン硫酸塩 (オンコピン注射用)	1mg	1.5 mg/m ² *1	□IV ■DIV □CVポート □側管 □その他()	10分	day1, 8, 15
	生理食塩液	100mL				
No.2	ビラルビン塩酸塩 (テラルビン注射用)	10mg	25 mg/m ²	□IV ■DIV □CVポート □側管 □その他()	全開	day1, 8
	生理食塩液	100mL				
No.3	シクロホスファミド水和物 (注射用エンドキサン)	100mg, 500mg	500 mg/m ²	□IV ■DIV □CVポート □側管 □その他()	3時間	day1, 8
	生理食塩液	500mL				
No.4	アスバラキナーゼ (ロイナーゼ注射5000)	5000K.U.	6000 U/m ²	□IV □DIV □CVポート □側管 ■その他(筋注)		day1, 3, 5, 8, 10, 12
	5%ブドウ糖液	20mL				
No.5	ブレドニゾン (ブレドニゾン錠)	5mg	40 mg/m ²	□IV □DIV □CVポート □側管 ■その他(経口)		day1-14
	メトレキセート (メトレキセート注射剤)	5mg	12 mg/body			
No.6	シタラビン (シタラビン注射液)	40mg	30 mg	□IV □DIV □CVポート □側管 ■その他(筋注)		day1
	ソル・コーテフ注射用	100mg	25 mg			
	生理食塩液	20mL	*2			

1コースの期間	28日
投与間隔の短縮規定	■短縮可能(1日) ・ □短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	開始基準 ANC ≥ 500 / μL Plt ≥ 5万 / μL 【triple IT】 中止・延期基準 Plt < 5万 / μL, PT-INR > 1.4, APTT > 38秒
前投薬	day1,8 5-HT3拮抗薬
その他の注意事項	*1 最大投与量 2 mg/body *2 原則、総量が5mLになるように調製する。 【テラルビン注射用】 アントラサイクリン系薬剤未治療例で、本剤の総投与量が950mg/m ² (体表面積)を超えること、うつ血性心不全を起こすことが多くなるので十分に注意すること。 前治療等により950mg/m ² 以下の総投与量でもうつ血性心不全が起こることがあるので、他のアントラサイクリン系薬剤等毒性を有する薬剤による前治療歴のある患者、心臓部あるいは縦隔に放射線療法を受けた患者及び本剤の総投与量が700mg/m ² を超える患者では心機能検査を行い慎重に投与すること。 【triple IT】 併用注意薬 ・ヘパリンNa (6時間以内の併用) ・低分子ヘパリン(12時間以内の併用) ・抗血小板薬 クロドグレル、チクロピジン、など ・抗凝固薬 アピキサラン、ダビガトラン、ワルファリン など ・内服の併用注意薬の休薬期間は、院内の「凝固系薬術前休薬一覧」に準拠する。 ※アスピリンは併用してもよい ※ヘパリンカルシウム(ヘパリン皮下注)は10000U/dayまでは併用してもよい

記入者	高松 宏行
確認者	成田 健太郎